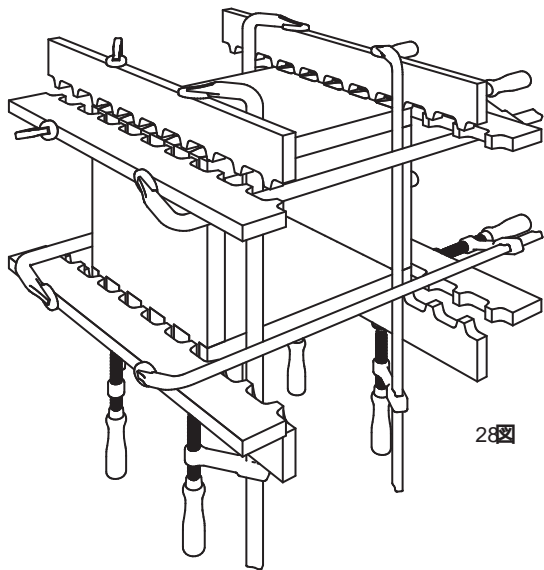
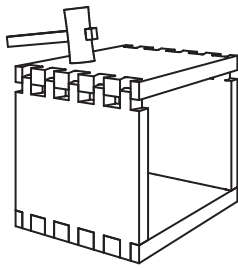


## 完成と組み立て

24図のように仮組みして全ての噛み合わせ状態を確認して完成です。

24図



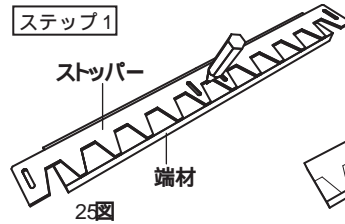
押さえ板を使ったクランピング

28図

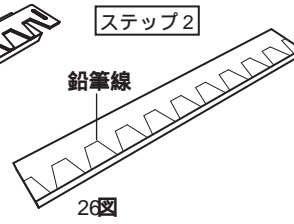
## 押さえ板の製作

ストッパーを型板として利用することで押さえ板を簡単に製作できます。本番組組み立て接着時に有効です。

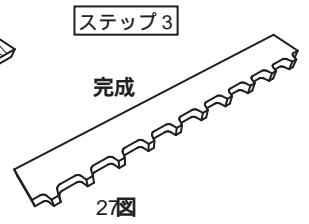
ステップ1



ステップ2



ステップ3



端材の上にストッパーを置き、鉛筆で形を写します。

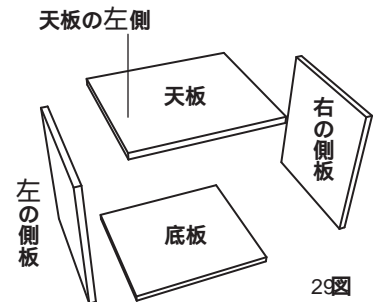
鉛筆線を目安にしてジグソーでカットすれば押さえ板の完成です。

## 型板の取付け方向

型板は材料板の左右どちらかに寄せてクランプします。29図のような4枚の板を蟻接ぎ加工する場合の型板取付け方向をご説明します。まず、天板の左側と左の側板を蟻接ぎ加工する場合、どちらも「左」という文字が付くので型板も「L」と書かれた側に注目し、L側に板を寄せてクランプします。(30図 L側を使った型板)

今度は天板の右側と右の側板を接合する場合は、この場合「右」という文字が付くので「R」と書かれた側に板を寄せてクランプします。(30図 R側を使った型板)

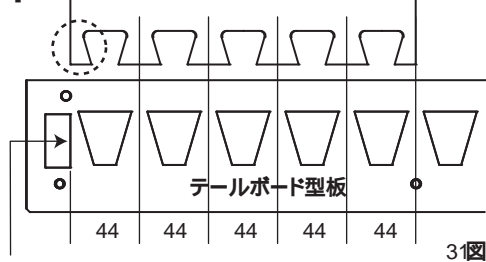
底板と2枚の側板の接合は、4枚の板を180°回転して底板を天板の位置にしたと想像します。そうして底板を天板に見立て先程と同じように加工します。



29図

### Tips

完成したテールボード



この部分が材料板と一致します。

テールボードを加工すると点線で囲んだように半分の大きさのテールで始まるようになっています。美しく仕上げるには反対側も半分のテールで終わるような板幅にしておくといいでしょう。そのためにはこのジグのピッチが44ミリなのでその倍数の板幅にします。また、22ミリの倍数にすれば半分のピンで終わらせることができます。

### MIRAIダブルテールジグ

テールボード型板 (1) ストッパー (1) ピンボード型板 (1) 当て板 (1) 木ネジ (5本) 厚みゲージ (1) 蝶ナット (3個) 取扱説明書 (1) 製品の仕様は改良のため予告なく変更することがあります。)

